

くず つか じま

葛塚縞手織り技術 伝承講座

参加者募集

葛塚縞の手織りの技術を習得してみませんか？
初めての方も大歓迎！

はた

機により布を作る「手織り」は古くから行われてきた手仕事です。

本講座は、機に縦糸をセットし布を織り上げるまでの全工程を体験する講座です。

- 開催日時 令和7(2025)年9月13日(土)～11月29日(土) 全8回 ※全て土曜日
※午前は9:30～ 午後は13:30～ 各約3時間程度
※作業工程により各人 参加日時が異なります

①オリエンテーション(概要説明・日程決め)	9/13 午後
②ヘル作業 (縦糸の長さとお本数を整える)	9/20 午後
③オサ通しⅠ(縦糸が絡まないよう順にオサに通す)	9/27または10/4の午前か午後
④チキリ巻き(縦糸を張りながら棒に巻く) アヤ返し (アヤ竹の位置を替える)	10/11 午後
⑤フェ通し (縦糸を綜絢(=フェ)の輪に通す)	10/18または10/25の午前か午後
⑥オサ通しⅡ(オサのスリットに縦糸を通す)	11/ 1または11/ 8の午前か午後
⑦織る	11/15または11/22の午前か午後
⑧布を機から外す 修了式	11/29 午後



チキリ巻き



フェ通し



オサ通しⅡ



織る

- 講師 葛塚縞手織りの会
■参加費 3,000円(全8回分)
■募集人数 8人(応募者多数の場合抽選)

※全日程参加できる見込みのある方優先

葛塚縞は、旧豊栄市葛塚の地名を冠した綿織物です。

太い綿糸を使用することと、昔のままの技法による藍染めに特徴があり、丈夫でかつ、藍による虫よけ効果で、野良着として需要が高まりました。安政年間には1年で1万2千反もの生産があったと伝えられています。

近代に入り機械化され、町の主要産業のひとつとなりましたが、戦後は、化学繊維の台頭や生活様式の変化等により、昭和40年代後半にその歴史の幕を閉じました。

かつて女性の冬仕事であった手織りの技術を保存・継承することを目的として、「葛塚縞手織りの会」が昭和63年に発足し、毎週土曜日の午後に活動を続けています。

応募締切日:8月30日(土)

応募方法 :電話(025-386-1081)またはメール(museum.n@city.niigata.lg.jp)または直接ご来館で
【①氏名 ②住所 ③電話番号 ④年代 ⑤何で情報を知ったか ⑥参加できない日】
を明記またはお伝えの上、お申し込みください。

主催 新潟市北区郷土博物館 / 協力 葛塚縞手織りの会
〒950-3322 新潟市北区嘉山3452番地 ☎025-386-1081